

因島高校を支援する会 7年を振り返って

因島高校を支援する会

発行 因島高校を支援する会
 会長 竹中啓修
 事務局 因島高校PTA
 ☎0845-24-1281
 題字 竹中啓修

座談会

因島高校 校長 岡本 卓也
 因島高校を支援する会会長 竹中 啓修
 同副会長 (元因島市教育長)

同常任幹事 (元因島高校PTA会長) 村上 正則
 同常任幹事 (因島高校野球部OB会長) 松浦 真博
 司会 同幹事 (元因島高校PTA会長) 村井 圭一



因島高校を支援する会会長 竹中 啓修

村上 同窓会が核になり、市P連と、高校PTAが一緒になって、教育委員会にも協力を頼み、大きな力で高校を支えようと発足した。市民の皆さんにも会費を千円ずつ出して、会員になってもらった。

竹中 7年前は、因島大橋の開通や卒業後の進路の不安から島外の高校を選択する生徒が増え続けていた。あのころは学校も荒れていた。新校舎の建設のため、当初は、土生校舎と重井校舎に分かれ、その後、プレハブ校舎への移動となり、教育環境も悪かった。PTA会長と学校を見に行っていたが、服装、頭髪なども目につくし、授業中も集中していない様子があった。なんとかこの状況を打破しなくてはと痛感した。

宮地 竹中会長はじめ役員の方々、PTAの方々には心から感謝している。私は、13年10月教育長に就任させていただいた。11月1日に「広島県教育の日」が制定され、県下でも他市に先がけて、幼保小中高が一斉に学校開放を実施した。支援する会が中心に取り組み、幼保小中学校もまきこんで、市民のみならず、学校に行こうと声をかけてくれ、新聞に大きくとりあげられた。

村上 同窓会が核になり、市P連と、高校PTAが一緒になって、教育委員会にも協力を頼み、大きな力で高校を支えようと発足した。市民の皆さんにも会費を千円ずつ出して、会員になってもらった。



因島高校を支援する会副会長 宮地 康福

島に一つの高校ということでは皆さんも愛着が強い。何度も学校へ行きました。が、当時は遅刻も相当数にのぼっていた。

松浦 先生方の協力体制も整い、勉強合宿や補習も取り組みが進んでいった。

村上 同窓会からも初期費用を分担してもらった。衛星放送で東京の代々木ゼミの一流講師の授業が因島で受講できるというものです。

一サテライン衛星放送は、支援する会事業の一つで高校のPRになりました。

竹中 現状を改善しなくてはいけないと必死だった。理解を広げるために会報を発行し、因島市と区長会の協力で全戸配布し、高校への関心も深まり、市民の高校だという気持ちが強まったと思う。

村上 2年の春休み、福山自然研修センターに合宿して、

福山大学で補習等を行っていただきます。早朝・放課後、夏休みも利用して継続しています。

一オーストラリア語学研修も定着してきました。

村上 因島高校の大きなPR事業になっていく語学研修に初年度17人が参加しました。研修後、出身の中学校に卒業生が帰ってきて報告会を持った。海外や異文化体験に関心を持ってもらうと同時に因島高校のPRになった。



因島高校を支援する会常任幹事 村上 正則

岡本 クラブの加入率は高いです。野球部もよく練習して

竹内 因島市から応援をうけ、その後尾道市が応援してくださり、感謝しています。

宮地 当時の役員さんたちが学校活性化の一助として海外語学研修を実施している県北の高校を四校も訪問し、さらには自費で現地へ下見に行くなど研究され、因島市としても研修費の一部を予算化しました。研修生徒たちも因島の代表だという意識でしっかりしてきました。

松浦 オーストラリアより生徒や先生が来日し、因島高校と再会を喜びました。ホームステイし、因島高校で体育授業等の参加、週末は餅つき、水軍太鼓、広島平和学習などPTAも協力し、楽しく交流しました。

岡本 今年もたくさんの方の来校がありました。跳躍運動は毎年評判の伝統的種目で、きびきびした姿に感動していただいているように思います。

松浦 各種行事に参加することも大切だ。水軍祭りや小早レースに出ている。市民が、がんばれと応援しているのを見ると、「ああ、僕たちは、因島のこともやなあ」と帰属意識も高まると思う。

岡本 ソフトテニス、サッカーも力をつけてきているので楽しみです。

村上 野球の応援も充実し、みんなの気持ちがひとつになるということで大変効果が出てきたと喜んでる。

宮地 商業系の高校では、パソコンや、商業について、小・中学校へ生徒が帰ってきて授業をしている。生徒自身の勉強にもなるし、高校のいいPRになると思います。



因島高校 校長 岡本 卓也

竹中 体育会が土曜日に行われている。小中学校のように日曜日にされると市民や保護者が参加しやすいと思う。

岡本 今年もたくさんの方の来校がありました。跳躍運動は毎年評判の伝統的種目で、きびきびした姿に感動していただいているように思います。

松浦 各種行事に参加することも大切だ。水軍祭りや小早レースに出ている。市民が、がんばれと応援しているのを見ると、「ああ、僕たちは、因島のこともやなあ」と帰属意識も高まると思う。

岡本 今年もたくさんの方の来校がありました。跳躍運動は毎年評判の伝統的種目で、きびきびした姿に感動していただいているように思います。

宮地 商業系の高校では、パソコンや、商業について、小・中学校へ生徒が帰ってきて授業をしている。生徒自身の勉強にもなるし、高校のいいPRになると思います。

村上 同窓会が核になり、市P連と、高校PTAが一緒になって、教育委員会にも協力を頼み、大きな力で高校を支えようと発足した。市民の皆さんにも会費を千円ずつ出して、会員になってもらった。

松浦 先生方の協力体制も整い、勉強合宿や補習も取り組みが進んでいった。

村上 同窓会からも初期費用を分担してもらった。衛星放送で東京の代々木ゼミの一流講師の授業が因島で受講できるというものです。

一サテライン衛星放送は、支援する会事業の一つで高校のPRになりました。



会談風景

岡本 今年もたくさんの方の来校がありました。跳躍運動は毎年評判の伝統的種目で、きびきびした姿に感動していただいているように思います。

竹中 成績を上げれば因島高校への入学率がアップする。愛媛県越智郡の島嶼部からも応募入学して欲しい。

岡本 幼稚園児と一緒に食事をしたり、小学生にプラネタリウムや天体望遠鏡を見学に来てもらっています。小さい頃から、高校へ関心をいだいてもらい、「大きくなったらいよいよ、因島高校へ行きたい」と言われるように、島内の小中学校へ輪をひろげていきたいと考えています。

岡本 現在卒業生の進路先は、概ね三分の一が大学・短大、三分の一が専門学校、三分の一が就職という割合です。推薦入学の指定校にもなっています。

松浦 今年度から、因島ライオンズ、せとうちライオンズ、国際ソロプチフッド因島、国際ソロプチフッドなみ、因島青年会議所に、幹事として加わっていただきました。輪が広がっていき、ありがたいことです。

岡本 今年度から、因島ライオンズ、せとうちライオンズ、国際ソロプチフッド因島、国際ソロプチフッドなみ、因島青年会議所に、幹事として加わっていただきました。輪が広がっていき、ありがたいことです。

宮地 次世代をになう子どもたちに対して情熱をもって温かく見守っていただければ、郷土愛をもった心豊かな子どもたちが成長していくと思います。

村上 因島高校を支援する会は、平成12年11月に発足し、7年が経過しました。島にひとつの高校を守ろうと、同窓会、高校PTA、因島市PTA連合会が中心となり、市民各種団体の応援を受け、今日まで活動してきました。今更で振り返りながら、今後の展望を語っていただきました。

宮地 商業系の高校では、パソコンや、商業について、小・中学校へ生徒が帰ってきて授業をしている。生徒自身の勉強にもなるし、高校のいいPRになると思います。



因島高校を支援する会常任幹事 松浦 真博

岡本 今年もたくさんの方の来校がありました。跳躍運動は毎年評判の伝統的種目で、きびきびした姿に感動していただいているように思います。

竹中 毎年支援する会とPTAが共同で、就職内定者に対してお祝いをしています。因島高校卒業生だと誇りをもってがんばってほしい。

岡本 今年もたくさんの方の来校がありました。跳躍運動は毎年評判の伝統的種目で、きびきびした姿に感動していただいているように思います。

松浦 今年度から、因島ライオンズ、せとうちライオンズ、国際ソロプチフッド因島、国際ソロプチフッドなみ、因島青年会議所に、幹事として加わっていただきました。輪が広がっていき、ありがたいことです。

岡本 今年度から、因島ライオンズ、せとうちライオンズ、国際ソロプチフッド因島、国際ソロプチフッドなみ、因島青年会議所に、幹事として加わっていただきました。輪が広がっていき、ありがたいことです。

宮地 次世代をになう子どもたちに対して情熱をもって温かく見守っていただければ、郷土愛をもった心豊かな子どもたちが成長していくと思います。

村上 因島高校を支援する会は、平成12年11月に発足し、7年が経過しました。島にひとつの高校を守ろうと、同窓会、高校PTA、因島市PTA連合会が中心となり、市民各種団体の応援を受け、今日まで活動してきました。今更で振り返りながら、今後の展望を語っていただきました。

宮地 商業系の高校では、パソコンや、商業について、小・中学校へ生徒が帰ってきて授業をしている。生徒自身の勉強にもなるし、高校のいいPRになると思います。

村上 因島高校を支援する会は、平成12年11月に発足し、7年が経過しました。島にひとつの高校を守ろうと、同窓会、高校PTA、因島市PTA連合会が中心となり、市民各種団体の応援を受け、今日まで活動してきました。今更で振り返りながら、今後の展望を語っていただきました。



因島高校を支援する会幹事 村井 圭一

入会のご案内
 みなさんのご支援ご協力を
 よろしくお願ひします。
 入会及び入会金の受付は、
 下記へご連絡下さい。
 因島高校PTA事務局
 (原教頭)
 ☎0845-24-1281

一ありがとうございます。次ステップに向かって進んでいきます。今後ともみなさんご協力をよろしくお願い致します。

岡本 今年もたくさんの方の来校がありました。跳躍運動は毎年評判の伝統的種目で、きびきびした姿に感動していただいているように思います。

松浦 今年度から、因島ライオンズ、せとうちライオンズ、国際ソロプチフッド因島、国際ソロプチフッドなみ、因島青年会議所に、幹事として加わっていただきました。輪が広がっていき、ありがたいことです。

岡本 今年度から、因島ライオンズ、せとうちライオンズ、国際ソロプチフッド因島、国際ソロプチフッドなみ、因島青年会議所に、幹事として加わっていただきました。輪が広がっていき、ありがたいことです。

宮地 次世代をになう子どもたちに対して情熱をもって温かく見守っていただければ、郷土愛をもった心豊かな子どもたちが成長していくと思います。

村上 因島高校を支援する会は、平成12年11月に発足し、7年が経過しました。島にひとつの高校を守ろうと、同窓会、高校PTA、因島市PTA連合会が中心となり、市民各種団体の応援を受け、今日まで活動してきました。今更で振り返りながら、今後の展望を語っていただきました。

宮地 商業系の高校では、パソコンや、商業について、小・中学校へ生徒が帰ってきて授業をしている。生徒自身の勉強にもなるし、高校のいいPRになると思います。

村上 因島高校を支援する会は、平成12年11月に発足し、7年が経過しました。島にひとつの高校を守ろうと、同窓会、高校PTA、因島市PTA連合会が中心となり、市民各種団体の応援を受け、今日まで活動してきました。今更で振り返りながら、今後の展望を語っていただきました。

「因島高校を支援する会」平成19年度常任幹事会開く

平成19年7月31日(火)、土生町、日立労働会館にて、「因島高校を支援する会」常任幹事会が、開かれました。因島高校を支援する会竹中啓修会長の挨拶に続き、ご来賓の松浦幸男広島県議会議員からご挨拶をいただき、岡本卓也因島高校校長が、日頃のご支援に対してお礼を述べ、続いて議事に入りました。



議事承認されました。会長は竹中氏が再任されました。

平成18年度事業報告ならびに決算が承認され、19年度の計画ならびに予算が審

第6回 オーストラリア語学研修

7月28日〜8月8日の12日間、生徒9名(2年生1名、1年生8名)と引率教員1名で、オーストラリアへ語学研修を実施しました。

この研修を通じて、国際理解を深め、国際人として異文化圏の人々を尊重する態度や、共に生きていく資質、能力を育成し、ホームステイや現地での学習を通じて、英語を使って自分の考えや意志を表現できる能力の基礎やコミュニケーション能力の向上を図ります。



良かった」「日本にいるだけではわからないことがいっぱいある」「いろいろな貴重な体験ができた」「友達や後輩にもぜひ勧めたい」と、感想を述べていました。あらためて、日本の良さ、因島のすばらしさ、さらには家族の絆を再認識したようです。

半田教育長に報告会

10月10日、因島総合支所にて、研修生徒たちは、尾道市教育委員会半田光行教育長に研修の成果を一人ずつ報告し、岡本校長は海外研修に尾道市から支援いた



参加した生徒は、「行って

会議所に、幹事として加わっていただきました。よろしくお願いいたします。今後の活動を期待しています。19年度の事業計画は次の通り

- 1 会報の発行
- 2 海外語学研修の実施支援
- 3 衛星放送テレビラインの実施
- 4 学校スポーツ、クラブ活動振興
- 5 学校開放事業の支援
- 6 会議
- 7 ホームページ作成・管理
- 8 就職内定者テーブルマナー講習会(高校PTAと共同企画)
- 9 先進校、先進地視察
- 10 講演会の実施
- 11 生徒への地域行事への参加支援

だいていることに対して感謝を述べました。半田教育長は、「学んだことや体験したことを今後の人生に生かしてください」と生徒の成長ぶりに喜んでおられました。



語学研修「体験記録集」

水軍祭り「小早優勝」

8月26日(日)、因島水軍祭り「小早レース」が、しまなみビーチにおいて行われ、因島高校からは、3年生女子チーム「黒光り」と男子チーム「因高魂」が、出場しました。3年生女子チーム「黒光り」は、堂々女子の部のレースで優勝しました。「黒光り」チームは、昨年2年生女子代表として出場しました。地域の方、PTA、同窓会等の支援の

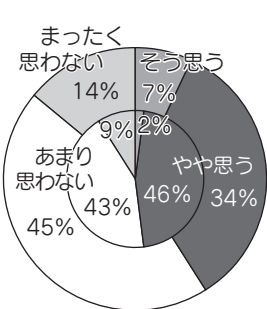


元、日頃の練習の成果を發揮し、ついに栄冠を勝ち取ることができました。

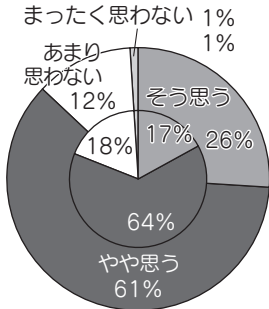
因島50年保護者アンケート実施 「評価昨年より上昇」

因島高校では、今年度も7月に因島5中学校の3年生保護者の方にアンケートをお願いしました。昨年度の回答内容と比較

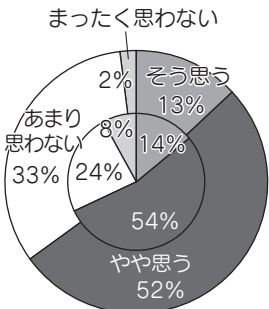
交通ルールが守られている。



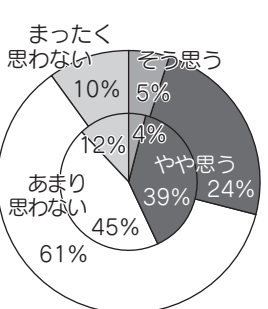
進路指導に力をいれている。



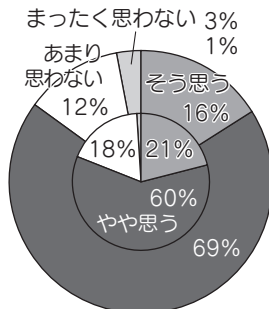
地域に信頼される学校である。



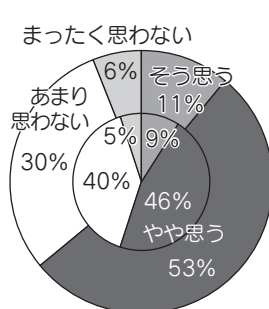
挨拶ができる。



行事やクラブ活動を積極的に推進している。

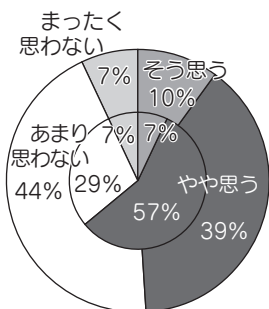


開かれた学校のイメージがある。

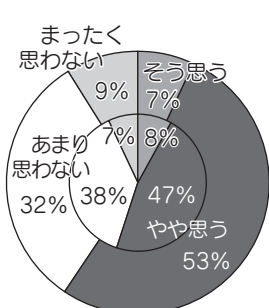


内円 18年度 外円 19年度

服装や頭髪がきちんとしている。



特色のある教育活動を行っている。



オープンスクール実施

8月28日(火)、中学3年生とその保護者を対象に因島高校オープンスクールを実施しました。島内の中学生を中心に207人の参加がありました。

体育館で開会行事の後、在校生、卒業生の因島高校の紹介と模擬授業を行いました。模擬授業は、国語、地理歴史、数学、理科、保健体育、芸術、英語、工業、福祉の9教科と多岐にわたり、それぞれ興味のある教室を回っていました。



図書室では、卒業生や、オーストラリア語学研修体験者の発表があり、大変盛り上がりです。

「体育会」開催す

9月29日(土) 因島高校グラウンドにて、平成19年度体育会が行われました。

あいにくの曇り空にもかかわらず、300人近い地域の方の参加を得て、「一瞬の風になれ!」をテーマに「高校生(準備)体操」にはじまり、「民謡(海賊節)」まで15種目演技を行いました。

なかでも3年男子の「跳躍運動」3年女子の「着付け競争」は内容、アイデア、工夫、



重井小学校 重井幼稚園 来校



編集後記

▼6年前、海外語学研修について比婆郡高野町、庄原格致高校高野山分校を訪ねた。県北の豪雪の町。高野の町外流出に悩む。「国際化は都市に必要」というが「田舎だからこそ国際化だ」と高校とPTAが取り組み、高野町と同じような環境の豪雪とトンが特産のニュージランドの町へ語学研修。ニュージランドからも高校生が来た。「オラも英語をしゃべらねば」と町の人の国際化が始まった。高校も町も姉妹組に発展した。高校の活性化が町の活性化につながった。▼「よし、因島でもやろう」と当時のPTA役員が奔走した。因島も高校を活性化することが町の活性化につながると信じて。▼大人たちが優しく子どもたちを愛する後継者に育つと期待している。みなさんのお力添えをお願いします。